

	園長	主任	担任
--	----	----	----

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事を体験し、それらに興味をもつ。 寒さに負けず保育者や友だちと戸外で思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。 歌や劇など表現することを楽しみ、見ることや見られることを喜ぶ。 	子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 寒さで戸外に出ることを嫌がる子どももいた。 防寒着の着脱や片づけを自分からしようとする姿がみられた。 氷鬼等の簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを繰り返し楽しんでいる。 散歩先では、落ち葉遊びを楽しんだり、氷をみつけて喜んでいる。 大好きなキャラクターなどになりきった遊びを楽しんでいる。 	行事	1日 節分 7、21日 英語で遊ぼう 19日 保護者会 20日 幼児計測
-----	---	-------	--	----	---

	内容	環境構成	保育者の援助及び配慮
--	----	------	------------

養護 ○生命・情緒	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の流行に配慮し、一人ひとりが健康で快適に過ごせるようにする。 寒さに負けず、戸外で身体を動かして健康に過ごす。 室温・湿度・換気・清潔など環境に配慮し快適に生活できるようにする。 生活の中で困っていること、手伝ってほしいことなどを、保育者に伝えられるよう配慮する。 一人ひとりの思いを受け止め、安心して自分の思いをだせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の温度、湿度に留意する。 部屋の清浄や換気に努める。 一人ひとりの健康状態を把握し早めに対応できるように保育者間で連携していく。 インフルエンザやノロウイルスの流行する時期なので、室内の気温や湿度に留意しながら、感染予防に努める。 子どもに手洗いやうがいの大切さを歌や絵本などを通して、分かりやすく伝える。 安心して話せるような環境を整える。保育者が一緒に繰り返し楽しむことにより、子ども同士で遊びを楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 気温が低い時期となるので、気温を考えながら外遊びの時間が充実できるよう調整していく。 一人ひとりの健康状態を把握し、体調の変化には早急に対応し、風邪やインフルエンザ等の予防に努める。 暖房器具や加湿器の点検・清掃を行う。 一人ひとりの気持ちに寄り添い、じっくりと話を聞くように心がけるなど、安心できる環境づくりをし、子どもたち自身が自信を持って行動できるようにする。 思いを自分で伝えられた際には褒めて受け止める。
--------------	---	---	---

教育 ○健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の流れに見通しをもち、進んで身のまわりのことをしようとする（鼻をかむ、手洗い・うがいをする、防寒着や衣類の片付けなど）また、行うことの大切さを知り、丁寧に自分から取り組む。 睡眠や身体を休めることの大切さを知る。 鬼ごっこや伝承遊びなど、簡単なルールのある遊びを保育者や友だちと一緒に思い切り体を動かして行う。 保育者の手伝いや食器の片付けなど喜び、進んで取り組む。 異年齢児との交流を通して、親しみや憧れの気持ちをもつ。 雪や氷等の冬の自然に興味をもち、見たり触れたりする。 節分の行事に参加する。 保育者や友だちと一緒にごっこ遊びを行う中で、日常生活での言葉を楽しみながら使う。 保育者に見守られながら、友達や保育者に自分の思いを伝える。 身体を動かして、表現する楽しさを味わう。 友だちや保育者と、図鑑や冬の絵本を楽しむ。 遊びの中で、イメージしたことや必要な物が作れることを喜ぶ。 自分の思いを言葉で伝える心地良さを感じながら表現する楽しさを味わう。 みんなと一緒に表現する満足感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 防寒着は、わかりやすく片付けられるようにジャンパーかけを用意しておく。 手洗い、うがい、鼻をかむなど、気付いた時に自分でできるように、コップやティッシュペーパーを取り出しやすいように設置しておく。 見守られていることで安心して、進んで取り組もうと思える雰囲気をつくる。 片付けや、整理整頓などを自分で気付いて取り組めるように、必要性を伝えたり、時間にゆとりをもった生活の流れを作っていく。 場所によっては、すべりやすく危険な箇所があることを、事前に知らせる。 お手伝いは何を、どうするかなど分かりやすく伝える。 異年齢児との交流で、一緒に楽しめるような遊びを取り入れる（リズム、体操、楽器遊び等） お散歩では霜柱などよく見つけられる公園にも行けるように配慮する。 節分に興味を持てるように絵本を用意したり、子どもたちが作った物を飾ったりする。 日常生活で使う言葉を保育者から伝えていったり、一緒に楽しむ。 身体を動かしたり、リズムに乗って楽しめるような曲を選ぶ等、環境を整える。 遊びはイメージが膨らむようなおもちゃを用意したり、様々な遊びが展開できるスペースを確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの様子を見ながら、片付けができた満足感や達成感を味わえるように声を掛ける。 困ったときは、友だちや保育者に伝えられるように事前に声をかけ、必要に応じて援助する。 保育者も子どもと一緒に丁寧に手洗い、うがいなどを行い手本となるような姿を見せる。 冬の感染症について伝えながら休息を取る大切さを紙芝居などを使いながら伝えていく。 戸外遊びなど誘いかけ、一緒に体を動かして遊ぶ。 お手伝いなど喜んでいる時には積極的にお願いし、できた時には感謝の気持ちを伝えていく。 年上の友だちの真似をして一緒に遊んだりし、できたことを自信につなげられるようにする。 子どもと会話を楽しみながら冬の自然に興味が持てる声掛けをしていく。 子どもと一緒に戸外に出て、氷や霜柱に触れ、冬の自然のおもしろさや不思議さに共感する。 節分の伝統行事に興味を持てるように、豆まきをしたり、歌をうたったりする。 保育者も言葉づかいに気を付け、思いやりの気持ちをもって行動するなど、好ましい姿を見せるようにする。 子どもの発見や感動を受け止め、他児にも言葉で伝えたり、一緒に体験したりする。 遊びの中でイメージしたことや必要な物が作れるように用意したり、一緒に考えて作ったりする。 子どもが楽しめる曲にふれ、自由に表現できるようにする。 さまざまな曲を聴いて、表現遊びを楽しめるようにする。 他のクラスと劇や合唱など発表を見合う機会を作り、保護者会での発表に期待をもてるようにする。 友だちと一緒に表現し何かに取り組む楽しさが味わえるよう、活動は子どもたちから発信できる環境を作り、事前に必要なものをすぐに取り出せるように整えておく。
-------------------------	---	---	--

食育	<ul style="list-style-type: none"> 年行事（節分）を知り、いつもと違う食事も楽しむ。 食事の大切さを知り、作る人に感謝の気持ちをもつ。 保育者や友だちとの食事を通して、食事のマナーを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 節分の時に使用する食材を絵本や写真でわかるように用意しておく。 食事のマナーを守って食べる保育者の姿勢を示す。 子どもが準備や片付けしやすい机の配置などを整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 節分などの行事は保育者自身も楽しんで参加し、行事食について一緒に興味を示しながら楽しんで食事をとる。 難しいところはさり気なく援助して「自分でできる」自信をもち、食事のマナーが身につくようにする。
----	---	---	---

	家庭・地域との連携	保健・安全	月の反省と自己評価
--	-----------	-------	-----------

<ul style="list-style-type: none"> 掲示版やおたよりで、感染症の流行状況を知らせ、早期発見、適切な対応に努める。 保護者会での発表への取り組みやその様子を知らせ、成長した子どもたちの姿を見てもらうとともに、子どもたちが十分に力を発揮できるように見守ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防に努め、感染症に関する対応などを、職員で再確認する。 加湿器などを使用し、室内の換気や加湿などに努める。 一人ひとりの体調を把握し、戸外に出る時間も調整しつつ充実して遊べるようにする 	
--	--	--

